

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	教育委員会だより発行事業			
担当部署・課長名	教育総務課	課	庶務	係 課長名 石川 博隆

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	1 - 1	1 - 2
【施策名】 学校教育の充実・生涯学習の推進	総合計画書 (ページ)	31	35

予算名	款 ¹⁰	教育費	項 ¹	教育総務費	目 ²	事務局費	事業 ²	教育事務管理費
-----	-----------------	-----	----------------	-------	----------------	------	-----------------	---------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 教育関係者・行政機関・市民(児童・生徒の保護者含む)	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 教育関係者・行政機関・市民(児童・生徒の保護者含む)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 学校教育行政に関すること、生涯学習に関することなどの教育行政、活動内容を知らせる。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 発行部数
	③ そのために何をしましたか。 東大和市における教育行政の現状を広く市民に知らせて教育の振興を図った。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 教育委員会だよりを年3回(7月、1月、3月)発行した。

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	7,550	7,550	7,550	
	成果指標	②の数値	%	100	100	100	
	目 標	②の目標値	%	100	100	100	
		目標値設定の考え方	児童・生徒の保護者及び教育関係機関等への配布数。				
活動指標	③の数値	部	7,550	7,550	7,550		

3 経費	事業費(実績)		円	445,207	368,886	427,923	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	445,207	368,886	427,923	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	1,653,400	1,650,600	1,648,800	
職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
事業費+人件費		円	2,098,607	2,019,486	2,076,723		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 開始時期は平成10年度。 次の世代を担う東大和市の子どもたちの健全な成長や生涯学習社会の構築を目指すため、学校や社会教育関係団体のみならず、保護者や地域の方々に教育行政に関する情報提供の手段として発行を開始した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 ・ホームページに掲載を実施した。 ・教育委員会だよりの興味をもって読んでもらえるよう、紙面の構図を工夫するなど改良を進めている。また、平成29年度7月の発行分から、仕様の大幅な変更(二色刷り及びSPコードの掲載)を行った。

仕 事 の 内 容	教育委員会だより発行事業				
担当部署・課長名	教育総務課	課	庶務	係	課長名 石川 博隆

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特に無し。				

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点				

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 ・市報は全紙面がカラーになったので、可能であれば、教育委員会だよりも二色刷りからカラーへ改良したい。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 特に無し。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 ・紙面の体裁とともに、発行部数及び発行回数を勘案した上で、予算編成時に検討したい。				

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ・より見やすく、親しみやすい教育委員会だよりの紙面の改良及び内容項目の検討。 ・見開きのページを活用する、写真を多用する等児童生徒にも読んでもらいやすくする。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・記事の内容、構図の取捨選択。 ・関係各課担当を集めた編集会議の開催。 ・予算内での紙面の改良可否の検討。				
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を向上させる。			経費	仕事の経費は維持する。